

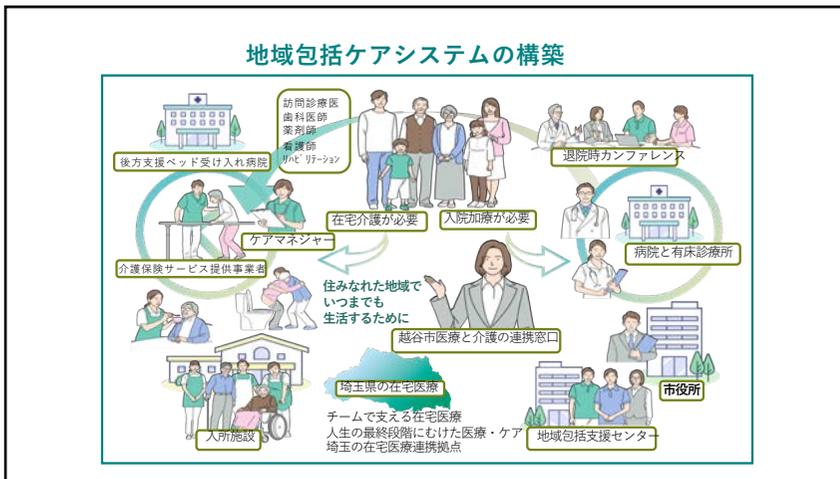
「越谷市医療と介護の連携窓口の取り組み」

～地域の多職種を支えるために～

越谷市医療と介護の連携窓口
コーディネーター 松家まゆみ

越谷市

- ・34万5000人のうち、高齢者人口8万7千人（高齢化率25.2%）
- ・保健所に登録している病院は15病院
- ・訪問診療登録医25名
- ・訪問看護ステーション31ヶ所
- ・地域包括支援センター12ヶ所
- ・居宅介護支援事業所64ヶ所
- ・介護サービス事業所248ヶ所



越谷市医療と介護連携の会 世話人会（22名）

- ・医師3名・歯科医師2名・薬剤師2名
- ・独協1名（連携室NS）越谷市立病院1名（連携室NS）
- ・訪問看護ステーション1名・越谷リハビリテーション協議会2名
- ・地域包括支援センター1名・ケアマネ会“ひだまり”1名
- ・介護保険サービス事業所連絡協議会3名
- ・地域共生推進課・地域医療課・地域包括ケア課・介護保険課・救急課（行政は各課1名）
- ・県立大学1名

 **在宅医療連携拠点「越谷市医療と介護の連携窓口」**

住み慣れた地域で自分らしい生活が送れるよう「入退院支援・日常療養支援・急変時の対応・看取り」の体制を構築します。また、多職種チームワークが深まるよう支えます。

ホームページ 

-  **医療介護福祉職・地域包括支援センター等の相談窓口**
-  **スムーズな多職種連携に向けた対応策の検討や研修会の企画・開催**
-  **情報共有・連携推進 (MCS:メディカル・ケア・ステーション)**
 - 医療介護現場がリアルタイムにつながる**多職種連携ツール**です。無料。
 - 非公開型(招待制)の高セキュリティで安心です。
-  **訪問診療医の在宅療養支援ベッド調整**
 - 訪問診療を受けて在宅療養生活をしている方が脱水や肺炎等で入院加療やレスパイト(介護者の休養)が必要な時に利用できるシステムです。
 - 5病院(市川胃腸科外科病院・慶和病院・越谷誠和病院・十全病院・新越谷病院)が輪番制で対応。**365日(1日1床)**ベッドが確保されています。
-  **人生の最終段階における意思決定支援の普及等**

 **越谷市医療と介護の連携窓口**

コーディネーターの業務.1

- ア) 現状分析・課題抽出・施策立案**
 - 越谷市の医療・介護提供体制と連携に関する実態調査(埼玉県立大学との協働プロジェクト)
- イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出**
 - アンケート調査(コロナ関連・入退院支援ルール、研修会、窓口の業務・・・)
- ウ) 切れ目ない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進**
 - 在宅療養支援ベッド(1床/1日、365日確保)市内の5病院が輪番制 患者利用可能者数413名
 - 越谷市入退院支援ルール策定**
 - 在宅医療連携拠点委員会・在宅医療支援委員会・緩和ケア委員会・世話人会・ナースの会
ケアマネ会ひだまり・主任ケアマネ会・埼玉南専門職連携とわーく
- ねっオ) 在宅医療・介護関係者に関する相談支援**
 - 多職種向け**電話相談(244件/年)**・zoomを活用した相談会(コーディネーター3名参加)

コーディネーターの業務.2

- キ) 地域住民への普及啓発**
 - ACP普及啓発事業(県)令和3年度**5回開催**
 - 市民向け講演会(年**2回**)
- エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援**
 - ホームページ
 - MCS(メディカルケアステーション)越谷全ユーザーグループ**417名**
 - 窓口頼りval.70号発行(1回/月)
 - ケース検討会議(zoom開催)への協力 令和3年度9月より運営開始
 - 市内のケース検討会議の医師調整(**44回/年**)
 - zoom出前講座
- カ) 医療・介護関係者の研修**
 - Amiカフェ・ランチで語ろう会**は1回/月(**24回/年**)
 - 研修会(**18回/年**)(コミュニケーション、IPW、医療的視点、ACP、緩和ケア、意思決定支援…)

越谷市入退院支援ルールの策定

 **越谷市入退院支援ルール**

切れ目ない
医療と介護の連携を目指して

2022年2月

越谷市入退院支援ルール策定の経緯

日程	内容
R 2.4	◇埼玉県保健医療部医療整備課より「地域における入退院支援ルール作成の進め方」通知
R 2.5	◇越谷市における入退院支援ルール作成の課題と進め方について協議
R 2.10	◇「越谷市入退院支援ルール作成に関するアンケート調査」市内118か所 対象：病院・診療所・居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション・地域包括支援センター
R 2.11	◇第1回ケアマネ意見交換会 市内居宅支援事業所 ケアマネジャー 8名 越谷市医療と介護の連携窓口
R 2.12	◇第1回越谷市入退院支援ルール意見交換会 越谷市内 4病院 看護師、ソーシャルワーカー 市内居宅支援事業所ケアマネジャー 8名 越谷市役所 福祉部 地域包括ケア推進課(現 地域共生部 地域共生推進課) 越谷市医療と介護の連携窓口
R 3.1	◇第2回ケアマネ意見交換会
R 3.1	◇第2回越谷市入退院支援ルール意見交換会
R 3.3	◇第3回越谷市入退院支援ルール意見交換会
R 3.8	◇越谷市リハビリテーション連絡協議会と意見交換会
R 3.8	◇第4回越谷市入退院支援ルール意見交換会
R 3.9	◇越谷市薬剤師会と意見交換会
R 3.10	◇令和3年度 第1回越谷市地域包括ケア推進協議会

病院・在宅チームで目指す入退院支援の視点



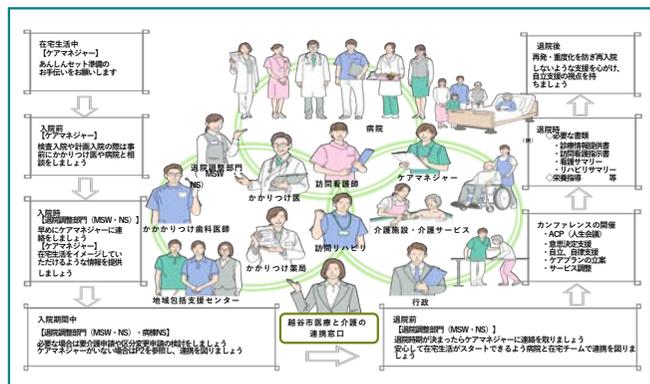
【入退院支援の目指すべき姿】

病院と在宅チームとの連携・協働

【暮らしの場へ戻る際、大切にしたい視点】

- ・再発・重度化を予防し、本人が望む在宅療養生活の継続
 - ・病院と在宅チームが、互いの強みを活かし連携し支援する
- 【切れ目ない連携を意識】**
- ・予防し備える
 - ・認識・方向性・力をあわせる
 - ・整える
 - ・支援をつなげる

入退院に関わる多職種連携のイメージ



入退院支援フローチャート



【目的】

入退院時に医療機関とケアマネジャー等の専門職が連携・協働し、利用者（患者）の必要な情報を引き継ぐことにより、**切れ目ない支援体制を整える**

【多職種を意識してもらいたいこと】

- ・チームを意識してもらう
- ・自身の役割とそれぞれの専門職の役割を再確認
- ・支援のポイントとタイミング
- ・カンファレンスの重要性
- ・医療関係者は在宅をイメージした支援

通院・入院時あんしんセット

「通院・入院時あんしんセット」について

医療機関やケアマネジャーは、利用者（患者）が通院や入院時に必要なものをあらかじめ準備しておくように、本人や家族に啓発しましょう。

啓発内容

- ①「通院・入院時あんしんセット」（以下、「あんしんセット」）は、目下から通院や入院が必要なものをご用意できやすい袋やケースにまとめて準備していただきます。
- ②「あんしんセット」を準備しておくことで、医療機関とケアマネジャーで適切な連携を図ることができ、スムーズな通院・入院につながります。
- ③情報が遅くても「あんしんセット」を活用することで、もしもの時に慌てず、情報共有を図ることができます。

【メリット】

- ・医療機関とケアマネジャーで速やかな連携が図れる
- ・もしもの時に慌てず、スムーズな通院や入院に繋がる
- ・情報共有が速い

【周知】

- ・ポスター掲示（病院、地区センター・行政）
- ・チラシの配布（病院・地区センター・行政・包括
ケアマネ・薬局・歯科・介護事業所）

Zoomを活かした多職種連携の取り組み



Ami カフェ
4月27日（水）12:15～13:15
『地域共生社会への取り組み』
～令和3年4月から・・・
どう変化したの？～

講師
地域共生部 地域共生推進課
課長 関 泰輔氏

メール
令和3年度「Amiカフェ」
参加者募集のお知らせ
お申し込みは4月25日（月）までにメールにて
お申し込みください。
お申し込みは4月25日（月）にご案内を添付して頂きます。
※お申し込みは4月25日（月）まで受け付けます。

令和3年度「Amiカフェ」
参加者募集のお知らせ
お申し込みは4月25日（月）までにメールにて
お申し込みください。
お申し込みは4月25日（月）にご案内を添付して頂きます。
※お申し込みは4月25日（月）まで受け付けます。



ランチで語ろう会
開催日：2021.4.14 12:15～13:00

Zoomに参加
<https://zoom.us/j/9120079156>
※当日はこちらをクリックして入りください
※参加費は1年間変わりません

資料がございますので、参加ご希望の方は事前に下記メールにご連絡をくださいますようお願いいたします。
mail:matsui@koshigaya-med.or.jp
越谷市医療と介護の連携窓口

Amiカフェ

目的：多職種が集い共に学ぶ場所づくり、中堅職のスキルアップ

2019年：「〇△□カフェ」対面式カフェとして開始

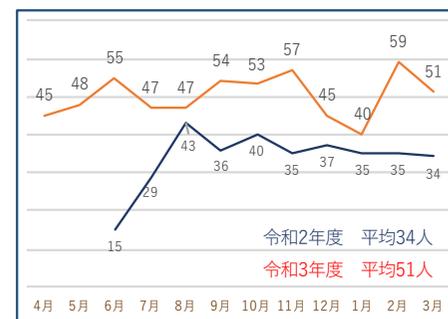
- ・月1回水曜日に保健センター内の1室で開催
- ・場所は・14:00～16:00（自由参加で入退室自由）
- ・参加者は月平均5名程度

2020年：「Amiカフェ」名称と開催方法を変更/オンライン形式として開始

- ・月1回水曜日に開催
- ・12:15～13:15（隙間時間を活用）
- ・講師は地域で活動する複数の異なる専門職に依頼
- ・入退室自由（気軽に参加）
- ・ビデオONで参加（顔の見える関係作り）
- ・立場を超え自由に発言



「Amiカフェ」参加者



月	参加者数
4月	45
5月	48
6月	55
7月	47
8月	47
9月	54
10月	53
11月	57
12月	45
1月	40
2月	59
3月	51

令和2年度 平均34人
令和3年度 平均51人

Ami カフェ
4月27日（水）12:15～13:15
『地域共生社会への取り組み』
～令和3年4月から・・・
どう変化したの？～

講師
地域共生部 地域共生推進課
課長 関 泰輔氏

参加ご希望の方は事前に下記メールにご連絡をくださいますようお願いいたします。
また、**MC: PAK**にてご連絡ください。
お申し込みは4月25日（月）にご案内を添付して頂きます。
※お申し込みは4月25日（月）まで受け付けます。
※お申し込みは4月25日（月）まで受け付けます。

所属
名前
職種
メールアドレス

令和3年度「Amiカフェ」
参加者募集のお知らせ
お申し込みは4月25日（月）までにメールにて
お申し込みください。
お申し込みは4月25日（月）にご案内を添付して頂きます。
※お申し込みは4月25日（月）まで受け付けます。

令和3年度「Amiカフェ」のテーマと職種

	テーマ	20職種
4月	「地域包括ケア」から「地域共生社会」へ	医師・歯科医師・薬剤師・MSW・看護師
5月	「地域の人が街をつくる」	理学療法士・言語聴覚士・管理栄養士
6月	「困難ケースは支援者が作り出す??」	地域包括支援センター・介護支援専門員
7月	「関係性をONにするコミュニケーション」	ヘルパー・施設職員・相談支援専門員（障害）
8月	「認知症の基礎」～知って欲しい認知症の本当のこと～	行政・社会福祉協議会
9月	「認知症のコミュニケーション」～安心してもらえる関わり方～	在宅医療連携拠点コーディネーター
10月	「意思決定支援」～基本的プロセスを学ぼう～	大学講師・精神保健研究員
11月	「意思決定支援」～事例で考えてみよう～	生活支援コーディネーター・暮らしの保健室
12月	「最期まで美味しく食べるを支援しよう」	
1月	「事例を通じて多面的にACPを考えてみよう」	
2月	「がんと食事「フードバトル」を避けるために」	
3月	「在宅支援に薬剤師を活用しよう」～多職種連携×薬剤師～	

ランチで語ろう会

目的:自分などのように支援をするかを考え、参加者と共有することで、自分の蹟や違う視点に気づき、お互いにスキルアップを図る。



ランチで語ろう会で行ってほしいこと
 つまずきやすい話し、語り易いように
 ・アセスメントカ、コミュニケーションの書き
 ・課題を見つけ整理する力を養う
 ・リフレクシオンを行いスキルアップを図る

ルール
 ・参加者の意見を尊重しよう
 ・批判的にならず、建設的に進めよう
 ・誰か一人に話を聞かせるのではなく、全員に話させよう
 ・実行可能な実践方法を考えよう
 ・時間を大切に使うことをお願いしよう

13職種

- 医師・歯科医師・薬剤師・理学療法士
- 地域包括支援センター・介護支援専門員
- 施設職員・医療ソーシャルワーカー（MSW）
- 拠点コーディネーター・暮らしの保健室
- 精神保健研究員・大学講師・行政

参加者数



月	参加者数
4月	2
5月	12
6月	12
7月	21
8月	8
9月	17
10月	14
11月	16
12月	16
1月	29
2月	26

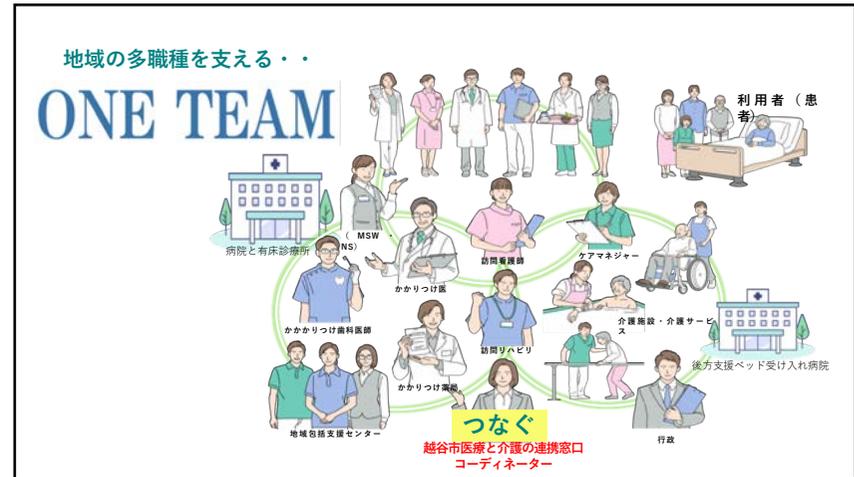


自分の強みや弱み、専門性の違いそんな凸凹と向き合い

時には風に飛ばされそうになりながらも、何とか凸凹を合わせて



連携・協働



ご清聴ありがとうございました

